

『コンタミ表示商品にアレルギー問題発生報告』

当社では、食物アレルギー問題に対するより深い理解のため、食物アレルギーを学習する勉強会を開催致しました。きっかけは、コンタミ表示をした当社商品を召し上がったお客様からの下記の食物アレルギー発生報告でした。

【アレルギー発生内容】

当社商品を食べられた乳アレルギーのお子様が、乳成分でアナフィラキシーショック症状に陥り、病院に救急搬送されるという事態が発生しました。その後、ご両親とお医者様の適切な判断と処置により回復されました。

※アナフラキシー症状

【全身性のじんましん及び下痢、腹痛、嘔吐、時には呼吸困難や血圧低下、意識障害を引き起こし、場合によっては死に至るケースもあり得る危険な状態を意味します。】

▼当該商品のアレルギー発生報告と原因調査

上記、お客様からのアレルギー発生報告を受け、当該商品の製造工程を確認致しました所、前日深夜に乳を原料としたクラストを製造したことが判明、その後の清掃の不徹底のため、クラストの一部が当該商品の生地に入ってしまったものと推測されました。お客様から回収させて頂きました当該品の乳由来タンパク質定量試験を実施致しました結果、コンタミ表示の規定量を上回る『乳由来タンパク質』が検出されました。

●この事態を非常に重要に受け止め当社では、以下の対策と教育を開始致しました。

▼対策

原因判明後、①生地の除去作業の徹底・清掃マニュアルの改訂 ②ふき取り、洗浄の徹底 ③生産手順計画書の確認徹底を図り、その後の製造分の食物アレルギー分析結果は乳成分「不検出」（外部機関調査）となっております。今後も、製品検査、拭き取り検査を定期的実施し、継続して監視して参ります。

▼教育研修の開始

当社では、コンタミ表示によってお客様に注意喚起を図っておりますが、従業員の食物アレルギーへの知識向上と作業改善、危害分析習得の為、ご報告を頂いた後、すぐに勉強会を開催致しました。



品質管理担当者からの勉強会（工場従業員対象）



品質管理担当者からの勉強会（全社対象）



品質管理担当者からの勉強会（全社対象）



産業医（下村洋一博士）による講習会